

隠し抽斗の更に奥

そこに

それはある

DAS ÖFFNEN IST VERBOTEN
開封禁止

C104会場限定本02
発行日:2024/08
サークル
御主人様の玩具箱
hal
印刷:ねこのしっぽ
18歳未満閲覧禁止

シルバン
の
秘密

デグレチャフ少佐が起きる気配はない

透き通るような白い肌はまるで人形のような
寝ているだけでこうも印象が変わるものなのか

自分でも最低な行為だと自覚はしている、
それでも、今更止めるつもりはない

彼女のこんな無防備な姿を知っているのは
私だけだと思おうとそれだけで
溜飲が下がる

こんな場所
執務室で素肌を晒す少佐は
私だけしか知らない

彼女本人でさえも
知らない



触るだけでは満足できず
少佐を汚してしまった

モノ
股の方にまで私の精液が
流れている

彼女は処女だろうか？
可能であるならば、外だけではなく
胎内さえも汚したい



真面目な少佐は今日も私の元を訪れた
昨夜自分が寝てしまった事への詫びだという
少佐が寝たのは私が薬を盛ったからであって
少佐は何も悪くないというのに

彼女は疑いもせず薬入りの珈琲を飲み干した
そんな簡単に男を信じるものではないが
私だから信頼してくれているのだろうか？



夢中になって少佐の口に
出してしまった

！！

大人顔負けの弁舌で罵る口も
眠っていれば可愛らしいものだ





ここ最近は何かと少佐を呼び出しては
こうして誰にも言えない事をしている

少佐も多忙だろうに断りもせず毎回訪れてくれるが
上官相手だから断る事も出来ないのだろう

毎回寝てしまっている事を
必死に謝罪してくるが
そろそろ気付かれてしまうだろうか？

それとも既に気付いている？

もし、少佐がこのことを知ったら
彼女は私を軽蔑するだろうか？



今日は薬の効き目が
弱かったのか少佐が
起きかけていた

今も何度か寝返りを
うっている

こうして見ていると
普通の少女だ

最初こそただの八つ当たり
だったというのに
最近はこの行為自体を
楽しみにしている自分がある



今日も少佐はやってきた

少佐の身体は隅々まで
知り尽くした
知らないのは胎内だけだ

さあ、今日は
何をして

……レルゲン……
中佐殿……？